

琵琶湖森林づくり基本計画の見直し骨子(案)について

1. 琵琶湖森林づくり基本計画の位置づけ

琵琶湖森林づくり条例第9条の規定に基づく計画(条例に示す理念を実効あるものとするためのアクションプラン)

- ・計画期間(長期):平成17年度(2005年)～平成32年度(2020年度)
- ・中期的な目標:戦略プロジェクトは社会経済情勢の変化に対応するため5年ごとに見直し

2. 琵琶湖森林づくり基本計画の見直しの背景

《森林・林業を取り巻く社会情勢の変化》

(1) 全国的な状況

- ・平成22年10月「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」施行
- ・平成22年10月「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」開催
- ・平成23年7月「森林・林業基本計画」「全国森林計画」見直し
- ・平成26年5月「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律(鳥獣保護法)」一部改正
- ・平成26年6月「農林水産業・地域の活力創造プラン」改定

(2) 本県の状況

○琵琶湖森林づくり条例制定後の新たな課題への対応

- ・滋賀県森林審議会からの「水源林保全のための仕組みづくりについて」答申
⇒目的不明な森林の取得、ニホンジカ被害の増加、巨樹・巨木の保護、林地境界の不明瞭化などの新たな課題への対応

○他の県計画との調和

- ・「滋賀県基本構想」「滋賀県環境総合計画」「生物多様性しが戦略」等の他の県計画との調和

○5年ごとの戦略プロジェクトの見直し

- ・中期目標である戦略プロジェクト(3期目)の策定

3. 琵琶湖森林づくり基本計画の見直し骨子(案)

※ 別紙のとおり

4. 琵琶湖森林づくり基本計画の見直しのスケジュール(予定)

平成27年3月・「琵琶湖森林づくり基本計画の見直しについて」を森林審議会に諮問

6月・琵琶湖森林づくり基本計画の見直しについて、常任委員会で報告

- ・県民との意見交換会(参加者65名)

7月・琵琶湖森林づくり基本計画の見直し骨子(案)について、6月定例会常任委員会で報告

- ・「琵琶湖森林づくり基本計画の見直しについて」答申予定

9月・琵琶湖森林づくり基本計画の見直し(案)について、常任委員会で報告

- ・県内5ヵ所でタウンミーティング(県民との意見交換)
- ・県民政策コメントの実施

12月・県民政策コメントの実施結果について11月定例会常任委員会で報告

平成28年3月・琵琶湖森林づくり基本計画の見直しについて公表

琵琶湖森林づくり基本計画の見直し骨子（案）

現計画	骨子（案）
第1 琵琶湖森林づくり基本計画策定の趣旨 基本計画の見直しについて	第1 琵琶湖森林づくり基本計画策定の趣旨 基本計画の見直しについて
第2 基本計画が目指す森林づくりの方向 基本方向 琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進 基本方針 ○森林の多面的機能の持続的発揮に重点をおいた森林づくり ○県民全体で支える森林づくり ※基本理念の目指す姿 1 森林の多面的機能の持続的発揮と地域の特性に応じた森林づくり 2 県民の主体的な参画による森林づくり 3 全ての県民の適切な役割分担と協働による森林づくり 4 県内の森林資源の有効利用の促進による森林づくり 5 森林づくりを支える人材の確保・育成を図りつつ推進する森林づくり	第2 基本計画が目指す森林づくりの方向 基本方向 琵琶湖と人々の暮らしを支える森林づくりの推進 基本方針 ○森林の多面的機能の持続的発揮に重点をおいた森林づくり ○県民全体で支える森林づくり ※基本理念の目指す姿 1 森林の多面的機能の持続的発揮と地域の特性に応じた森林づくり 2 県民の主体的な参画による森林づくり 3 全ての県民の適切な役割分担と協働による森林づくり 4 県内の森林資源の有効利用の促進による森林づくり 5 森林づくりを支える人材の確保・育成を図りつつ推進する森林づくり
第3 基本計画の位置づけ 1 性格と役割 2 計画期間	第3 基本計画の位置づけ 1 性格と役割 2 計画期間
第4 基本施策 【1 環境に配慮した森林づくりの推進】 (1) 多面的機能を発揮させる森林管理の推進 ・①保安林指定、森林病虫害獣の削減、災害からの森林保全 ・②林道・作業道の整備 ・③公的管理森林の適切な森林整備 ・④環境に配慮した森林づくりのための調査・研究 (2) 人工林の特性に配慮した森林整備の推進 ・①地域特性に応じた森林整備 ・②長伐期林・複層林への誘導 ・③森林整備作業の効率化、間伐材の利活用の推進 ・④強度間伐による針広混交林化の推進 (3) 天然林の保全管理の推進 ・①里山整備の推進・②里山の多面的利用 ・③自然遷移に委ねた森林管理・④自然生態系の保全	第4 基本施策 【1 環境に配慮した森林づくりの推進】 (1) 琵琶湖の水源林の適正な保全・管理の推進 ・①水源林の土地取引の把握 ・②水源林の巡視の強化 ・③保安林指定、森林病虫害獣の防除、災害からの森林保全 ・④公的管理森林の適切な森林整備 ・⑤林地境界明確化 ・⑥環境に配慮した森林づくりのための調査・研究 (2) 持続可能な森林整備の推進 ・①地域特性に応じた森林整備 ・②長伐期林・複層林への誘導 ・③計画的な除間伐の推進 ・④森林の適正な更新 (3) 生物多様性の保全に向けた森林づくりの推進 ・①多面的機能発揮のための森林整備の推進 ・②里山整備と多面的利用 ・③多様な自然生態系の保全 ・④ニホンジカ対策の強化 ・⑤巨樹・巨木等多様な森林生態系の保全
【2 県民の協働による森林づくりの推進】 (1) 県民の主体的な参画の促進 ・①多面的機能の恩恵を情報発信、普及啓発 ・②森林ボランティア活動支援 ・③上下流連携による森林づくり推進 ・④流域森林づくりへの支援 (2) 里山の整備・利活用の推進 ・①里山保全活動への支援 (3) びわ湖水源のもりの日・びわ湖水源のもりづくり月間の取り組み ・①もりの日、もりの月間の普及啓発 ・②月間中の森林づくり活動の推進	【2 県民の協働による森林づくりの推進】 (1) 多様な主体による森林づくりへの支援 ・①森林ボランティア活動等への支援 ・②企業やNPO等の多様な主体による森林づくり ・③流域森林づくりへの支援 (2) 県民の主体的な参画の促進 ・①水源林の価値の評価と多面的機能の情報発信 ・②もりの日、もりの月間の普及啓発 ・③上下流連携による森林づくり推進
【3 森林資源の循環利用の促進】 (1) 県産材の利用の促進 ・①県産材利用拡大の取り組み支援 ・②需給情報の提供、産地証明、供給拠点づくりの取り組み支援 ・③公共施設の木造化・県産材を使った住宅建築の推進 (2) 森林資源の有効な利用の促進 ・①新たな利用方法の調査研究 ・②健康づくりへの活用方策の研究・検討 ・③県産材加工施設、木質バイオマス活用施設整備の取り組み支援	【3 森林資源の循環利用の促進】 (1) 林業活動の活性化による森林資源の活用（川上） ・①提案型集約化施業の推進 ・②高性能林業機械等の導入による低コスト施業の推進 ・③林道等の路網の整備 ・④間伐材の利活用の推進 ・⑤自伐型林業への支援 (2) 県産材の流通体制の整備（川中） ・①県産材利用拡大の取り組み支援 ・②産地証明の取り組み支援 ・③木材流通センターを核とした流通体制の強化 (3) 県産材の有効利用の促進（川下） ・①住宅等における県産材利用の推進 ・②公共施設の木造化・木質化の推進 ・③新たな利用方法等の調査研究 ・④県産材加工施設や木質バイオマス利活用施設等の整備支援
	※ ゴシック体は今回修正、ゴシック斜体は仕組みづくりから今回追加

琵琶湖森林づくり基本計画の見直し骨子（案）

現計画	骨子（案）
<p>【4 次代の森林を支える人づくりの推進】</p> <p>(1) 森林所有者等の意欲の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> ①森林整備情報や技術情報の提供の推進 ②雇用・就業相談、森林管理技術研修 <p>(2) 森林組合の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1 県1 組合をめざす ②森林整備の人材育成 <p>(3) 森林環境学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①様々な世代に森林環境学習を推進 ②森林環境学習の取り組み支援 	<p>【4 次代の森林を支える人づくりの推進】</p> <p>(1) 森林所有者等の意欲の高揚</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開伐等の森林整備情報や技術情報の提供の推進 ②雇用・就業相談、森林管理技術研修 <p>(2) 森林組合の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①活力ある森林組合の運営 ②森林整備の次代を担う人材の養成確保と生産基盤の充実 ③森林資源を有効活用する素材生産の担い手の育成 <p>(3) 森林環境学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①様々な世代に森林環境学習を推進 ②「やまのこ」をはじめとする森林環境学習の取り組み支援 ③ウッドスタートからの「木育」の推進
<p>第5 戦略プロジェクト</p> <p>プロジェクトのテーマ</p> <p>～急がれる県産材の安定供給体制の整備と 地球温暖化防止森林吸収源対策による森林の保全整備の推進～</p> <p>戦略1. 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林吸収源の確保と多様な森林づくりに取り組む ・地球温暖化防止に向けた森林吸収源対策の推進 ・森林生態系や環境に配慮した整備の推進 <p>戦略2. 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体による森林づくり活動を進める ・県民が森林づくり活動を行う体制の整備 ・多様な主体や新たな仕組みによる森林づくりの推進 <p>戦略3. 森林資源の循環利用促進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産材の利用促進を図り、低炭素社会の実現に向けた取り組みを促進する ・県産材の利用促進 ・森林資源の新たな利用の推進 <p>戦略4. 次代の森林を支える人づくりの推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林を守り育てる人材の育成と確保に取り組みます ・森林を育む担い手づくり ・意欲ある林家・グループの育成 ・森林環境学習の充実 	<p>第5 戦略プロジェクト</p> <p>プロジェクトのテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性に富んだ豊かな森林づくりの推進 ○県産材の安定供給体制の確立 <p>戦略1. 環境に配慮した森林づくり推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性の保全と健全な水源林の育成に取り組む ・水源林の適正な保全・管理の推進 ・持続可能な森林整備による森林吸収源対策の推進 ・生物多様性が保全された森林づくりの推進 <p>戦略2. 県民の協働による森林づくり推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体による森林づくり活動を進める ・多様な主体による森林づくりの推進 ・森林づくりへの新たな参画の促進 <p>戦略3. 森林資源の循環利用促進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林資源の循環利用の促進による林業活動の活性化に取り組む ・森林山村資源の活用による地域再生 ・県産材の流通体制の整備 ・県産材の有効利用による温暖化対策への貢献 <p>戦略4. 次代の森林を支える人づくりの推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊かな森林づくりの普及と森林資源の循環利用の担い手の育成に取り組む ・森林資源の循環利用のための担い手づくり ・意欲ある林家・グループの育成 ・森林環境学習の充実
<p>第6 推進体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財源の確保 2 進行管理と点検評価 3 実施状況の公表 	<p>第6 推進体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 財源の確保 2 進行管理と点検評価 3 実施状況の公表 <p>※ ゴシック体は今回修正、ゴシック斜体は仕組みづくりから今回追加</p>